

よ さ み そ う し ん じ ょ き ね ん かん

依佐美送信所記念館

関連年表

- 大正 10年 (1921) このころ碧海郡依佐美村が対欧無線電信局の候補地となる
- 大正 14年 (1925) 10月 半官半民の国策会社「日本無線電信株」設立
- 大正 14年 (1925) 12月 逓信省が依佐美村に送信所、三重県海蔵村に受信所を建設することを命令する
- 昭和 2年 (1927) 2月 依佐美送信所建設に着手
- 昭和 3年 (1928) 1月 鉄塔工事に着手
- 昭和 4年 (1929) 3月 日本無線電信株依佐美送信所を竣工
- 昭和 4年 (1929) 4月 ワルシャワへの送信業務開始
- 昭和 11年 (1936) 11月 短波需要の増大により短波専用局舎を新設
- 昭和 13年 (1938) 3月 日本無線電信株は国際電話株を合併し、「国際電気通信株」となる
- 昭和 22年 (1947) 3月 GHQ から鉄塔の解体命令、国際電気通信株 は解散
- 昭和 25年 (1950) 4月 依佐美送信所を在日米国海軍が接收
- 昭和 25年 (1950) 6月 国際電気通信株の第2会社として「電気興業株」が設立され、保守運用を担当
- 昭和 27年 (1952) 5月 電気興業株が依佐美出張所を開設
- 昭和 27年 (1952) 7月 米国海軍が依佐美送信所の使用開始
- 昭和 27年 (1952) 9月 米国海軍依佐美送信所開所式
- 平成 5年 (1993) 8月 依佐美送信所の送信を停止
- 平成 6年 (1994) 8月 依佐美送信所は日本に返還される
- 平成 9年 (1997) 3月 鉄塔の撤去が終わる
- 平成 18年 (2006) 4月 依佐美送信所本館・送信局舎が解体される
- 平成 19年 (2007) 4月 フローラルガーデンよさみ内に依佐美送信所記念館が開館

各種認定等

- 平成 19年 (2007) 8月 高周波発電機が社団法人日本機械学会「機械遺産」に認定される
- 平成 20年 (2008) 10月 送信装置一式(9件)が「重要科学技術史資料(未来技術遺産)」に登録される
- 平成 20年 (2008) 11月 依佐美送信所が「IEEEマイルストーン」に認定される
- 平成 21年 (2009) 2月 旧依佐美送信所関連遺産(10点)が「近代化産業遺産」に認定される
- 平成 24年 (2012) 3月 「依佐美送信所と超長波による初の欧州との無線通信」が社団法人電気学会「でんきの礎」に選定される
- 平成 29年 (2017) 9月 依佐美送信所が「電子情報通信学会 (IEICE) マイルストーン」に認定される
- 令和 8年 (2026) 2月 送信装置及び関連資料一式(50件)が「愛知県登録文化財」に登録される



依佐美送信所は昭和4年に建設された、当時としては世界最大級の無線送信施設で、長波によるヨーロッパへの送信を日本で初めて行いました。これにより当時の外交や通商は飛躍的に進展しました。その後短波通信設備も強化され、長・短波ともに日本の国際通信施設としての重要な役割を果たしました。

第2次世界大戦後の在日米国海軍による接收、平成6年の日本への返還を経て、その役割を終えた送信所は平成18年に解体されました。

この送信所の産業遺産としての価値を評価し、長波用送信装置および関係資料を保存し後世に伝えていくことを目的として、ここに依佐美送信所記念館を建設しました。



依佐美送信所記念館

〒448-0812 愛知県刈谷市高須町石山2番地1
 フローラルガーデンよさみ内
 TEL 0566-29-4330

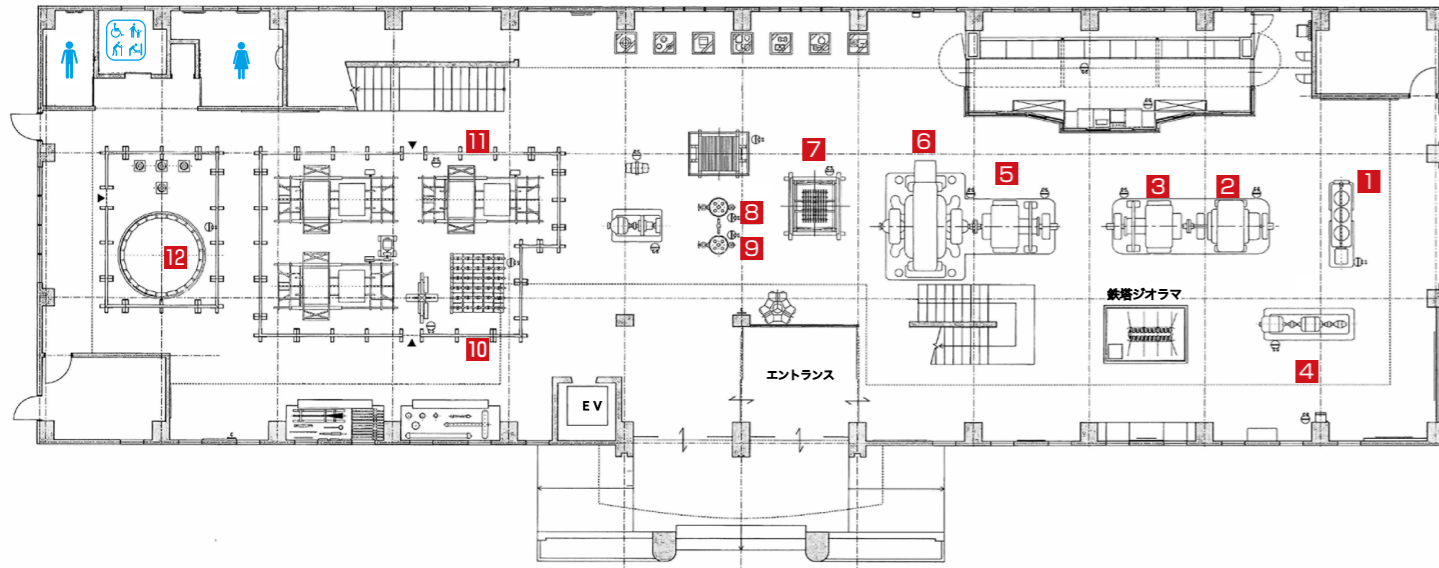
開館時間 午前9時から午後5時まで
 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始

刈谷市文化観光課 TEL 0566-62-1037

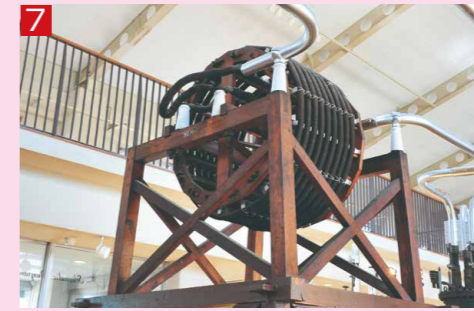
交通機関

- 刈谷駅南口よりタクシー約7分
- 刈谷市コミュニティバス「かりまる」
 フローラルガーデンよさみ(依佐美線)下車徒歩約5分
 もりあと公園東(小垣江線)下車徒歩約5分

記念館機器配置図



解体前の送信室内



1 水抵抗器
みずていこうき
主誘導電動機の回転子側に付加して、始動時の大電流を抑制し、電動機を安全に始動して定常状態にする装置。

2 主誘導電動機
しゅゆうどうでんどうき
この主誘導電動機と主直流発電機と主直流電動機でワードレオナード方式を構成しており、電動機は主直流発電機を一定回転数で駆動する。

3 主直流発電機
しゅちゅうりゅうはつでんき
主誘導電動機が主直流発電機の電機子を回転して、界磁電流を流すと電機子に直流電圧が発生する。

4 主直流機励磁用電動発電機
しゅちゅうりゅうき れいじようでんどうはつでんき
主直流発電機及び主直流電動機の励磁用電動発電機である。誘導電動機に直流発電機2基が直結されて構成している。

5 主直流電動機
しゅちゅうりゅうでんどうき
この直流電動機が直接、高周波発電機を駆動する。電機子に電圧を加えて界磁電流を流すと、トルクが発生して電動機が回転する。

6 高周波発電機
こうしゅうはつでんき
送信所の中で最も重要な部分。1,360rpmで5.814kHzの周波数を発生する。構造は固定子の内側中央に円周に沿って誘導子を励磁する直流巻線があり、その両側に出力巻線が配置されている。

7 高周波チョークコイル (1)
こうしゅうは
このコイルは高周波電流が高周波発電機に干渉するのを防ぐためのもの。木枠にリッツ線（細いエナメル銅線の燃線）を円筒状に巻いてある。

8 周波数三倍器 (トリプラ)
しゅうはさんばいき
可飽和リアクトルが発生する飽和電圧に含まれる第3高調波を利用して入力周波数を3倍にする。高周波発電機から発生した5.814kHzを送信電波に必要な3倍の17.442kHzにする。

9 信号用磁気誘導変更器
しんこうようじ きゆうどうへんこうき
発射電波をモールス信号に従って断続させる装置。特殊な鉄心に信号用コイルと直流用コイルが巻かれた変圧器である。

10 コンデンサ
コンデンサ
コイルと組み合わせて所定の周波数に共振させるためのもの。

11 バリオメータ型高周波コイル
がたこうしゅうは
コンデンサと組み合わせて所定の周波数に共振させるためのもの。最適の共振状態を得るために微調整することができる。

12 ローディングコイル
ローディングコイル
17.442kHzにアンテナを同調させるために設けられたコイル。直径3mの円筒状の木枠にリッツ線が24回巻かれている。